

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果

令和8年度8月12日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	マーガレフィディニウム (旧)コクロディニウム ホリクリコイデス
1. 夏井沖	8:57	0	観測機器不具合のため欠測			0	0	0	0
		5				0	0	0	0
		15				0	0	0	0
		25				0	0	0	0
		35				0	0	0	0
		41.8				0	0	0	0
2. 長田沖					-				
3. 片白島					-				
4. 小田代					-				
5. 沖松浦漁港					-				
6. 鶴見振興局裏					-				
7. 鶴見ボンツーン	9:24	0	26.2	33.01	6.8	0	0	0	0
		2	25.7	33.12	7.1	0	0	0	0
		5	25.1	33.45	7.0	0	0	0	0
		10	23.9	33.53	6.9	0	0	0	0
		11.7	23.7	33.54	6.7	0	0	0	0
		12.7	23.6	33.56	6.4	0	0	0	0
8. 石間					-				
9. 霞ヶ浦	10:04	0	26.4	33.39	7.2	0	0	0	0
		5	25.1	33.50	7.1	0	0	0	8
10. 守後					-				
11. 片神	10:12	0	26.2	33.37	7.3	0	0	0	0
		5	25.2	33.48	6.9	0	0	0	0
12. 片神～彦島					-				
13. 水試前	10:30	0	24.2	33.56	6.9	0	0	0	0
		5	24.0	33.56	7.3	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
マーガレフィディニウム・ホリクリコイデ	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アワビ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100～200細胞/mlで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

連絡事項

有害プランクトンのマーガレフィディニウム・ホリクリコイデスが確認されました。

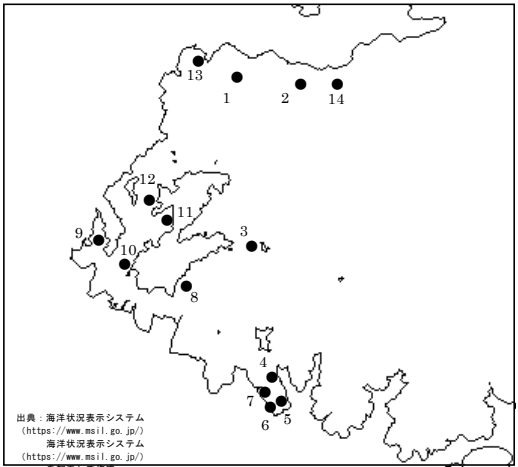


図. 調査定点図